

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06209
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学			開催方法 (キャンパス・施設)	■対面 (広島キャンパス) □オンライン (同時・録画)	
2. 科 目 名	化学とエネルギーから環境と向き合ってみる					
	学問分野	番 号	32	名 称	自然科学系 (理学)	
3. 担当教員	大竹才人 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース 教授 西本 潤 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース 准教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 6 年 7 月 27 日 (土) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (90 分×2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・ 授業計画	【科目内容】 近年、人為的な要因による環境問題が地球規模で発生しており、気候変動や環境悪化など様々な問題があります。このような環境問題を解決するためには、現状を正確に認識することが必要不可欠です。本公開講座では、大学で化学を担当する 2 人の講師から、温暖化に大きな影響を与えるエネルギー問題と沿岸海域で起こっていることについて取り上げて、環境問題への取り組みを紹介します。 【授業計画】 (1 時限目 9:00~10:30 大竹 才人) エネルギー問題の解決に向けて、再生可能エネルギーの利用が注目をされていますが、その普及があまり進んでいないのが現状です。これは発電効率が低いことや、自然変動の影響を大きく受けることから安定的なエネルギー供給が難しいこと、更には発電にかかるコストが非常に高いなどの要因が挙げられています。これらの解決に向けて、発電効率の向上や、効率的な送電システムの確立、またはコスト負担を広く分担する社会システムの整備など、社会連携による一体的な取り組みが必要となります。この様な再生可能エネルギーの普及に向けた技術的な問題点とその解決への取り組みを紹介します。 (2 時限目 10:40~12:10 西本 潤) 海には様々な生き物がおり、その一部を人間は捕獲あるいは採取して食料としています。昔はその海へ様々な化学物質が流れ込んだ汚染による生物への影響が問題でした。マイクロプラスチックの問題が残っていますが、現在は社会全体としてきれいにしようとして努力しているにもかかわらず、健康な海に戻りきっていないことが問題です。この授業では物質の循環に焦点を当てて、環境と化学のかかわりについて、沿岸海域を中心にして、説明していきたいと思います。					
7. 受 講 料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 特になし					
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。